ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、全ての人々にとってのより健康な世界の実現を目指し、30 年以上にわたり医療の革新を追求し、飛躍的な進歩を遂げてきたバイオ医薬品企業です。当社は、HIV、ウイルス性肝炎、がんなどの生命を脅かす疾患の予防と治療のため、革新的な医薬品の開発に取り組んでいます。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界 35 カ国以上で事業を行っています。

ギリアドと Kite のオンコロジー部門について

ギリアドと Kite のオンコロジー部門は、がんの治療方法を革新するために尽力しています。私たちは現在、がん患者さんのアウトカムを改善すべく、次世代の治療法、併用療法およびテクノロジーを駆使してイノベーションを推進しています。私たちは、最も大きな診療ギャップに対処すべく、がん領域のポートフォリオおよびパイプラインを目的を持って構築しているところであります。抗体薬物複合体技術および低分子化合物から細胞治療に基づくアプローチまで、私たちはがん患者さんのために新たな可能性を創造しています。

anitocabtagene autoleucel（anito-cel）について

anitocabtagene autoleucel（anito-cel、旧名：ddBCMA）は、D-Domain として知られる新規の小型結合体を用いた、多発性骨髄腫（MM）を対象に検討される初の BCMA 標的 CAR T 細胞療法です。小型で安定した D-Domain 結合体は、持続的なシグナル伝達なしに CAR を高発現させ、BCMA 標的から速やかに放出されるように設計されています。この組み合わせにより、重度の免疫毒性を生じることなく、多発性骨髄腫細胞を効果的に除去できる可能性があります。anito-cel は、米国食品医薬品局（FDA）より、ファストトラック、希少疾病用医薬品および再生医療先端治療の指定を受けています。

KITE-753 について

KITE-753 は、再発／難治性 B 細胞リンパ腫の成人患者さんの治療薬として評価されている開発段階のバイシストロニック自家 CAR T 細胞療法です。KITE-753 は、確立された 2 つの B 細胞標的（CD19 および CD20）に同時に作用するように設計されており、二重の共刺激シグナル伝達（CD28 および 4-1BB）も組み合わせて、T 細胞が迅速に反応し、経時的に活性を維持するのを支援します。その T 細胞に最適化された製造工程は、T 細胞の機能性（フィットネス）を維持し、完全奏効の持続性を高めることを目的としています。

Gamgertamig（CM336/OM336）について

Gamgertamig（CM336/OM336）は、自己抗体による免疫介在性疾患の治療薬として開発中の BCMAxCD3 二重特異性 T 細胞エンゲージャーです。また、特定の自己免疫疾患に対して、米国食品医薬品局から希少疾病用医薬品およびファストトラックの指定を受けています。

Gamgertamig は米国での IND 申請に基づき、2027 年に登録試験を開始する予定です。Gamgertamig は Lakefront Biotherapeutics と共同で開発されています。

将来予測に関する記述

本プレスリリースは、1995 年「米国証券訴訟改革法」（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）で定義される「将来予測に関する記述」に該当し、いくつかのリスクや不確定要素などの要因を含む場合があります。これらのリスク等には、ギリアドおよび Kite が現在見込まれるタイムライン内に臨床試験を開始、進行、完了する能力、またはそれらが全く完了できない可能性、Tecartus（brexucabtagene autoleucel）、イエスカルタ（アキシカブタゲン シロルユーセル）、anito-cel、gamgertamig、KITE-753 に関するものを含む、進行中または追加の臨床試験（iMMagine-1 試験、GEM-AnitoFIRST 試験、LATE-R 試験、ZUMA-12 試験など）から得られた結果が好ましくない可能性、RRMM に対する anito-cel の BLA など、現在評価中の適応症について、進行中または将来の申請に関連するものを含め、規制当局への承認申請および関連する申請や承認のタイムラインに関連する不確実性、規制承認に使用上重大な制限が課される、または当該規制当局による承認の取消しその他の不利な措置などのリスク、ギリアドおよび Kite がこれらのプログラムの開発中止を戦略的に決定し、結果としてこれらのプログラムが現在評価中の適応症について、全く商業化されない可能性、および上記のいずれかの根拠となる仮定も含まれます。これらのリスクやその他のリスクについては、米国証券取引委員会に提出している、2026 年 9 月 30 日を期末とするギリアド四半期報告書（フォーム 10-Q）で詳細に説明しています。これらのリスク、不確定要素およびその他の要因により、実際の結果が「将来予測に関する記述」で言及されたものと大きく異なる可能性があります。歴史的事実以外の全ての記述は、「将来予測に関する記述」とみなされます。このような「将来予測に関する記述」は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を伴いますので、この記述に過度に依拠しないようご注意下さい。「将来予測に関する記述」は全て、ギリアドおよび Kite が現在入手できる情報に基づいており、ギリアドおよび Kite は「将来予測に関する記述」を更新する義務を負うことはなく、更新する意向もありません。